



5分でできる！ホームページ AI検索対策 チェックシート

ChatGPTやGeminiなど、生成AIを使って会社・商品・サービスを探す人が増えています。

このチェックシートでは、AIに情報を理解してもらいやすいホームページになっているかを、11項目で簡単に確認できます。

まずは自社サイトを開きながら、できている項目にチェックを入れてみてください。

1 | 会社・運営者情報が明確になっている

- 会社名・所在地・連絡先・事業内容などがホームページ上で確認できる。

AIが「誰が運営しているサイトなのか」を理解するための基本情報です。会社概要だけでなく、各サービスとの関係が分かる状態になっているか確認します。

2 | 商品・サービスの内容が具体的に書かれている

- 誰に、何を提供しているのかがページを読めば分かる

「高品質なサービスを提供します」だけでは、具体的な内容が伝わりにくいことがあります。対象・特徴・用途などを明確にします。

3 | ページごとのタイトル・説明文が整理されている

- 各ページに内容に合ったtitle・meta descriptionが設定されている

ページごとに、そのページの内容を表す「タイトル」と「説明文」が設定されているか確認します。

【確認方法】

WEBサイト上で右クリックし、「ページのソースを表示」を選びます。内容をコピーしてAIに貼り付け、

「このページのtitleとmeta descriptionは適切に設定されていますか？」

と聞いてみてください。2～3ページ確認すると、サイト全体の傾向が分かりやすくなります。

4 | 見出し構成が分かりやすい

- H1・H2などが、内容の順序に合わせて整理されている

【確認方法】

3と同じように「ページのソースを表示」から内容をコピーしてAIに貼り付け、

「このページのH1・H2・H3の使い方と見出し構成は適切ですか？」

と聞いてみてください。

見出しが整理されていると、「このページは何について、どんな順番で説明しているのか」が人にも機械にも伝わりやすくなります。

5 | 構造化データが設定されている

□ Organization・LocalBusiness・Product・FAQ・BreadcrumbList など、サイトに適した構造化データが設定されている

構造化データは、会社・商品・ページなどの意味を機械が理解しやすい形で伝えるための情報です。

【確認方法】

ページのソースを表示して内容をAIに貼り付け、
「このページに構造化データは設定されていますか？設定されている種類も教えてください」と聞いてみてください。

Organization・LocalBusiness・Product・BreadcrumbListなど、ページの内容に合った構造化データが入っているか確認します。

6 | llms.txtを確認している

□ llms.txtの必要性を確認し、サイトの内容に応じて作成・設置している

llms.txtは生成AI・大規模言語モデル向けに、サイト内の重要な情報を案内するために提案されている仕組みです。設置だけでAIへの掲載や表示が保証されるものではありません。

【確認方法】

自社サイトのURLの最後に `/llms.txt` を付けてアクセスしてみてください。

例:

<https://example.com/llms.txt>

内容が表示されれば設置されています。404エラーなどが表示される場合は、設置されていない可能性があります。

7 | よくある質問(FAQ)がある

- お客様が実際に疑問に思う内容を、質問と回答の形で掲載している

FAQはユーザーの疑問を解決すると同時に、商品やサービスについて具体的な情報を整理する役割があります。

AIが「こういう悩みでこの商品を探しています」と伝えた時、自社サイトにそれがあるよという内容を作ります。

8 | 実績・事例・専門性が伝わる

- 制作事例・導入事例・実績・専門分野など、選ぶための根拠が掲載されている

「できます」と書くだけでなく、実際の事例・実績・具体的な数字などを掲載すると、AIが会社の専門性やサービスの特徴を判断する材料が増えます。

9 | スマートフォンで見やすく、使いやすい

- スマートフォンで文字・画像・ボタン・商品一覧などが無理なく見られる

AIに情報が伝わっても、ページを訪れた人が使いにくければ問い合わせや購入にはつながりません。実際の利用者の使いやすさも重要です。

10 | 生成AIで自社を実際に調べたことがある

- ChatGPTやGeminiなどで、自社名・商品・サービスについて質問して確認している

自社がどのように説明されるか、競合と比較したときにどう扱われるかを確認すると、情報不足に気づくことがあります。

11 | ホームページの情報が更新されている

- 古い料金・サービス・営業時間・商品情報などが残っていない

AI検索対策では、情報を増やすだけでなく、現在の事業内容とホームページの内容を一致させておくことも大切です。

何年も前のお知らせや、すでに終了したサービス、古い会社情報などが残っていないか確認してみてください。

チェック結果

8～10個 | かなり整っています

基本的な情報は整理されています。今後は、AIからどのように認識されているかを確認しながら、細かな改善を続けていきましょう。

5～7個 | 改善できるところがあります

土台はありますが、構造化データ・FAQ・会社情報などを見直すことで、より内容を伝えやすくできる可能性があります。

0～4個 | 一度サイト全体を確認してみましょう

AI検索以前に、会社・サービス・ページ構造などの基本情報を整理することで、検索にも人にも伝わりやすいサイトへ改善できる余地があります。

チェックがつかなかった項目、MUDORAが改善します。

お試しプラン



まずはAI検索対策を試したい方へ

11,000円 (税込)

 料金	11,000円 (税込)
 対象ページ	トップページ
 AI検索チェック	○
 llms.txt作成・設置	○
 構造化データ	トップページ
 title・meta description	トップページ
 見出し構成	確認
 FAQ	—
 サイト内容改善	—
 スマホの使いやすさ	確認＋改善案
 サイト速度	速度測定・確認
 改善報告書	○



AI検索対策の第一歩に。トップページを中心に、
基本的なチェックと改善案をご提案します。

※表示価格はすべて税込です。

基本・おすすめプラン



多くの企業に人気の標準プラン

33,000円(税込)

 料金	33,000円 (税込)
 対象ページ	主要5ページ
 AI検索チェック	○
 llms.txt作成・設置	○
 構造化データ	主要5ページ
 title・meta description	主要5ページ
 見出し構成	確認・改善
 FAQ	提案・設定
 サイト内容改善	主要5ページを部分改善
 スマホの使いやすさ	簡易改善＋提案
 サイト速度	基本改善＋提案
 改善報告書	○



AI検索対策に必要な項目をバランスよくカバーする、はじめての方にもおすすめのプランです。

※表示価格はすべて税込です。

しっかりプラン



本格的にAI検索対策を行いたい方へ

55,000円 (税込)

 料金	55,000円 (税込)
 対象ページ	全ページ※
 AI検索チェック	○
 llms.txt作成・設置	○
 構造化データ	サイト全体
 title・meta description	全ページ
 見出し構成	全体確認・改善
 FAQ	提案・設定
 サイト内容改善	サイト全体を確認・改善※
 スマホの使いやすさ	簡易改善＋提案
 サイト速度	できる範囲で改善＋フル改善提案
 改善報告書	○



サイト全体を総合的にチェックし、
AIに選ばれやすいサイトへしっかり改善します。

※表示価格はすべて税込です。 ※「対象ページ」「サイト内容改善」はサイトの規模により調整いたします。

※AI検索対策は、ChatGPT・Geminiその他の生成AIへの表示・掲載・順位等を保証するものではありません。

お申込みはクレジット決済、銀行振込で下記ページから申し込みます。

<https://mudora.jp/services/ai-search/>

↑をクリック。

株式会社MUDORA run party
広島県福山市山野町山野58-8

お電話での受付は現在行っておりません。
(AI電話対応となっております。ご了承ください)